



# 薬剤師会による一般用医薬品 販売のサポート体制作り(第3報)

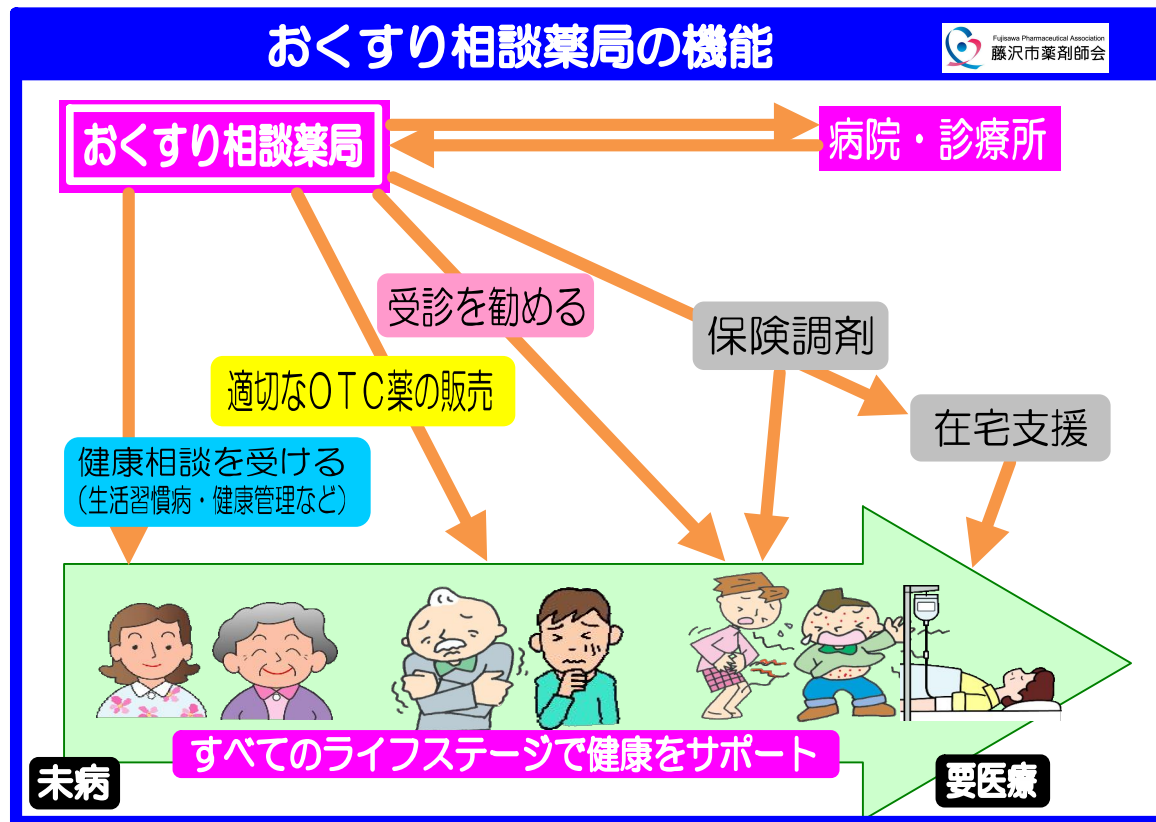
## セルフメディケーション意識調査から 見えた今後の課題

平成22年10月10日

(社)藤沢市薬剤師会 情報提供委員会・広報委員会 大島 崇弘

# 「おくすり相談薬局」ってどんな事をしてくれるの？

藤沢市薬剤師会が提案する身近な医療提供施設としてのかかりつけ薬局です。適切なOTC薬の販売、受診勧奨、保険調剤、正しい医薬品に対する知識の啓蒙、在宅における服薬管理・支援などに対応し市民の健康を生涯通してサポートする薬局が「おくすり相談薬局」です。



# アンケート調査の概要

「おくすり相談薬局」を通じて、市民に対してセルフメディケーション意識調査(アンケート調査)を実施、また参加薬局に対しても薬局向けアンケート調査を実施

## <目的>

- ・改正薬事法施行後1年を経過した時点での、市民・薬局の現状認識を把握し、今後の指標を探る
- ・「おくすり相談薬局」の機能訴求

## <方法>

- ・実施期間:2010年5月28日(金)～6月4日(金)
- ・調査告知:地域コミュニティ誌(新聞折込9800部)へ掲載および薬局にて告知
- ・参加薬局:85薬局
- ・市民向けアンケート:850枚配布      762枚回収(回収率89.65%)
- ・薬局向けアンケート:85枚配布      78枚回収(回収率91.76%)

# アンケート調査結果

## ～市民向けアンケート結果～



### セルフメディケーション意識調査

社団法人 藤沢市薬剤師会

以下の  には黒く塗りつぶすかチェックを入れてください。良い例:  または

質問1. ご回答いただいている方についてお聞きます。

性別  男  女

年齢  10代  20代  30代  40代  50代  60代  70代以上

職業  会社員  自営業  主婦  学生  その他 (無職を含む)

質問2. 本アンケートをどのようにして知りましたか？

5月28日号のタウンニュースを見て  薬局での実施告知を見て

質問3. この薬局をいつもご利用されていますか？

はい  市販薬購入  処方せん調剤  その他  いいえ

質問4. 薬局の選択基準は何ですか？ (複数回答可)

薬剤師の知識や応対  価格  ポイントカードなどの特典  店内の清潔さ

商品の選びやすさ  品揃え  営業時間  立地条件  入りやすさ

◎ 改正薬事法については、**約半数**しか認識されていない。

Q) OTC薬が、3分類(第1類～第3類)された

知らない

知っている:53%

Q) 第1類は、薬剤師の説明が必要となった

知らない

知っている:55%

Q) 第1類は、薬剤師不在時販売が不可となった

知らない

知っている:49%

Q) 登録販売者が創設された

知らない

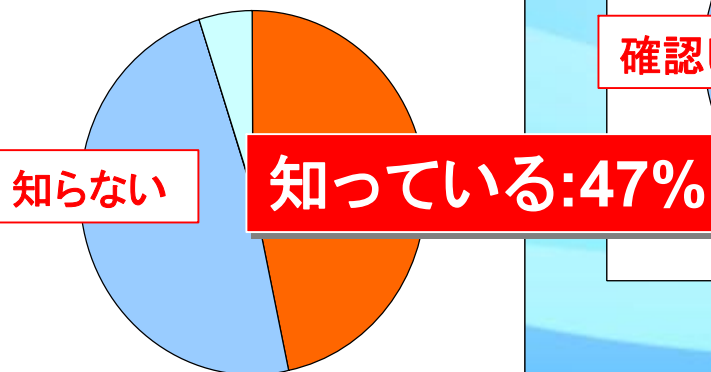
知っている:40%

◎ 薬局と店舗販売業（一般販売業）の違いを認識しているのは  
**半数未満**

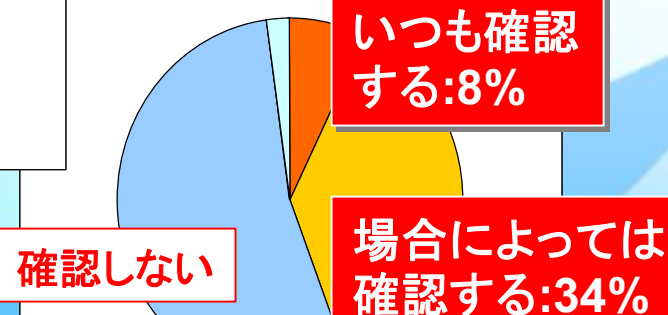
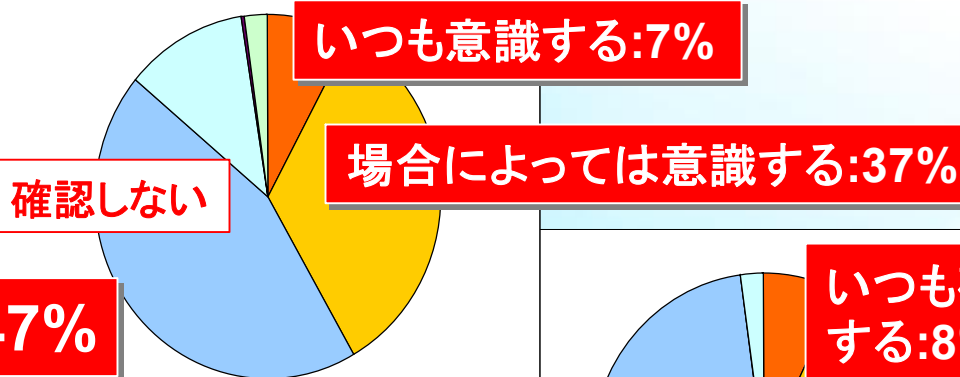
◎ OTC薬の分類、販売者の資格をいつも確認している市民は  
**7～8%**

（場合によって確認するを合わせても **半数未満**）

Q) 薬局と店舗販売業の違いについて



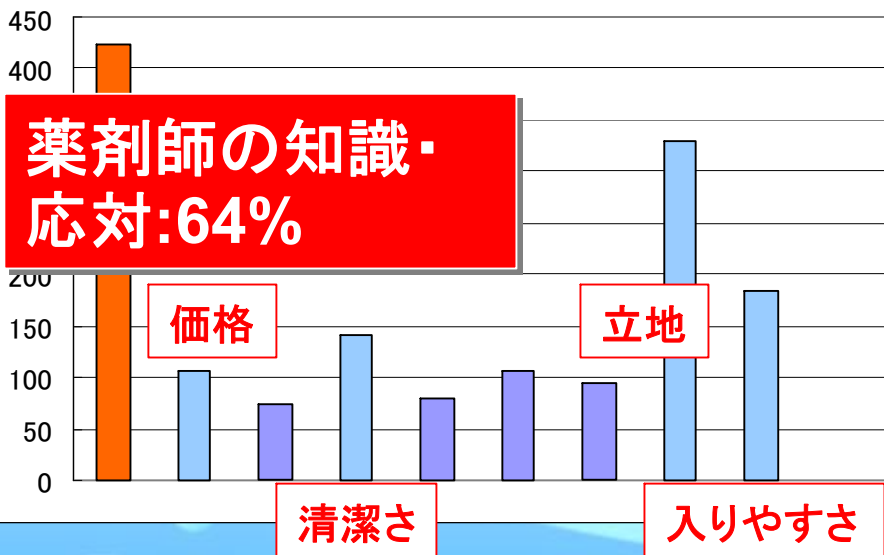
Q) OTC薬購入時に、医薬品分類を意識するか？



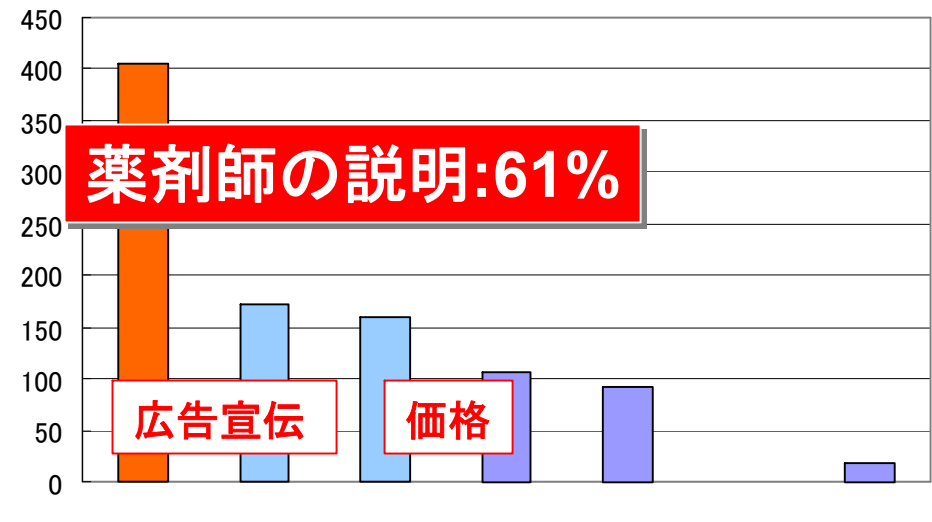
Q) OTC薬購入時に、販売員資格を確認するか？

◎ 薬局や医薬品の選択基準は、**薬剤師の知識・応対・説明**が最重要視されている。

Q) 薬局の選択基準は？



Q) 購入する医薬品の選択基準は？



◎「おくすり相談薬局」を知っていた市民は、**22%**

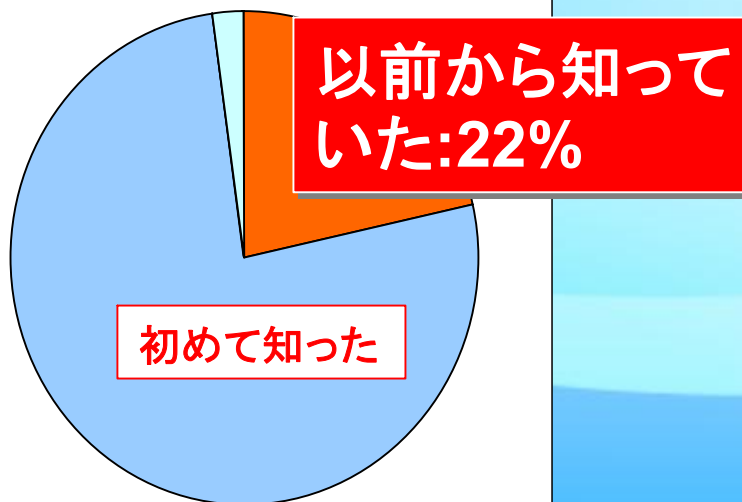


◎「おくすり相談薬局」を今後も利用したいかどうか？

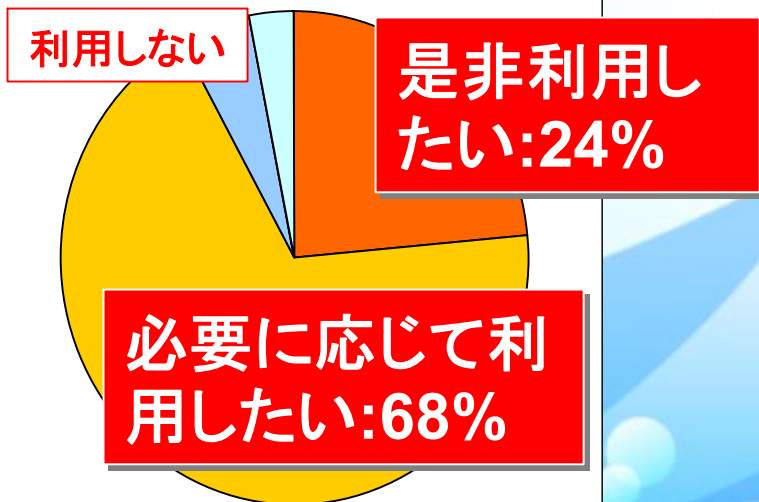
→是非利用したい、必要時利用したいを合わせると**92%に**

『**上昇**』

Q)「おくすり相談薬局」をご存知  
でしたか



Q)今後も「おくすり相談薬局」を利用したい  
ですか





# アンケート調査結果

## ～薬局向けアンケート結果～



### 薬局モニター調査

社団法人 藤沢市薬剤師会

以下の 0 には黒く塗りつぶすかチェックを入れてください。良い例: ● または ☑

質問1. OTC薬の取り扱い品目数\*     品目

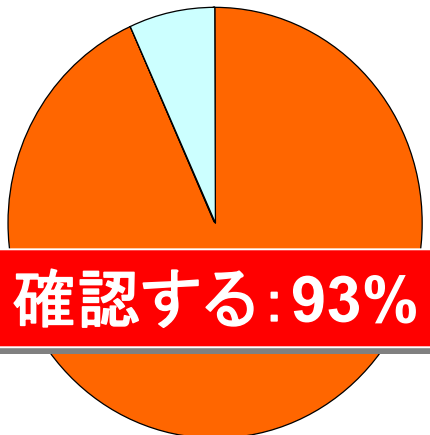
品目数：包装単位が異なる場合は別品目とします。例えば、同一商品で30錠入りと60錠入りがある場合は、2品目と数えて下さい。(算用数字を用い1マスに1数字を記入)

質問2. OTC薬販売時に通常実施している確認項目はどれですか？

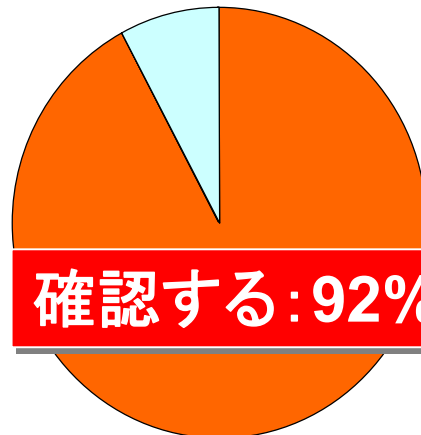
- |                 |                               |                                |
|-----------------|-------------------------------|--------------------------------|
| ① 使用者（本人・代理人の別） | <input type="checkbox"/> 確認する | <input type="checkbox"/> 確認しない |
| ② 使用者の年齢・性別     | <input type="checkbox"/> 確認する | <input type="checkbox"/> 確認しない |
| ③ 併用薬           | <input type="checkbox"/> 確認する | <input type="checkbox"/> 確認しない |
| ④ 現病歴・既往歴       | <input type="checkbox"/> 確認する | <input type="checkbox"/> 確認しない |
| ⑤ お薬手帳の有無       | <input type="checkbox"/> 確認する | <input type="checkbox"/> 確認しない |

# 医薬品販売時の確認事項について

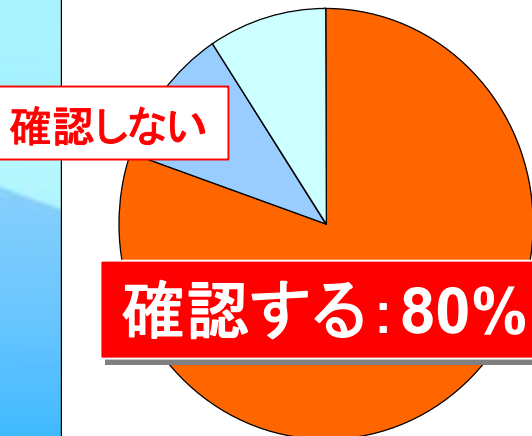
Q) 購入者(本人・代理人の別)の確認



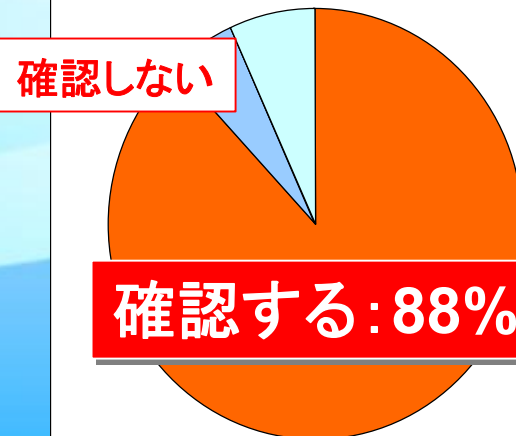
Q) 併用薬の確認



Q) 服用者の年齢・性別の確認

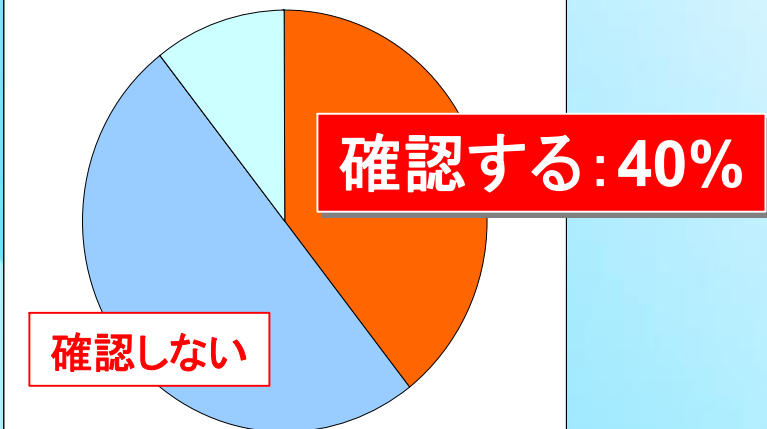


Q) 現病歴・既往歴の確認

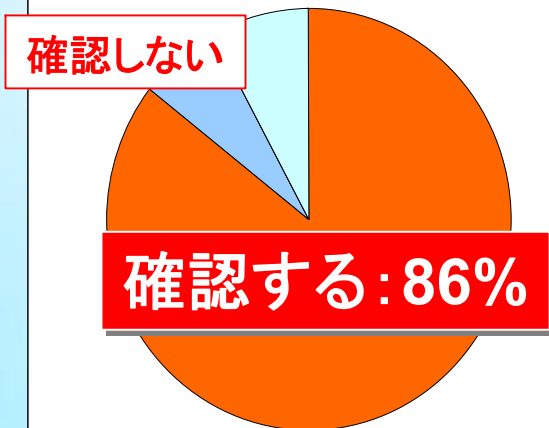


# 医薬品販売時の確認事項について

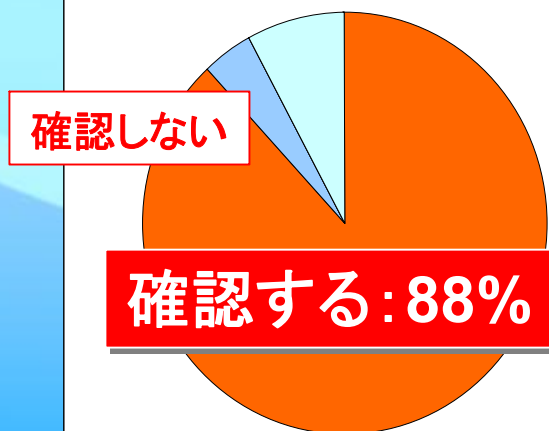
Q) お薬手帳の有無の確認



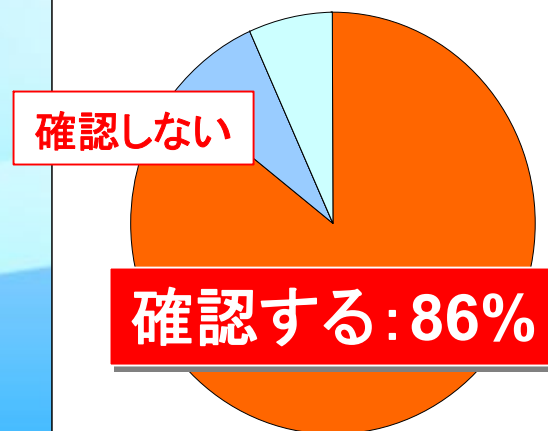
Q) アレルギー歴の確認



Q) 副作用歴の確認



Q) 妊娠・授乳の確認



◎ 薬局では、OTC薬販売時に **基本的注意事項**【本人・代理人の別、服用者の年齢・性別、併用薬、現病歴・既往歴、副作用歴、アレルギー歴、妊娠・授乳(対象者に限る)】を **しっかり確認している。**

安心チェックシート

平成 年 月 日

購入者	本人 ・ 代理人
服用者の年齢、性別	才 <男 ・ 女>
症状	
併用薬の有無	無 ・ 有 ( )
受診の有無 (現病歴・既往歴)	無 ・ 有 ( )
お薬手帳	無 ・ 有
副作用歴の有無	無 ・ 有 ( )
アレルギー体質の有無	無 ・ 有 ( 本人 ・ 家族がアレルギー体質)
妊娠・授乳の有無	無 ・ 有 (妊娠 週、 授乳中)
その他伝えておきたいことがあればお申し出下さい	

薬局の対応 (薬剤師: )	販売 (商品名: )
	指導のみ (理由: )
	受診勧奨 (理由: )
	その他 ( )

## 安心チェックシート

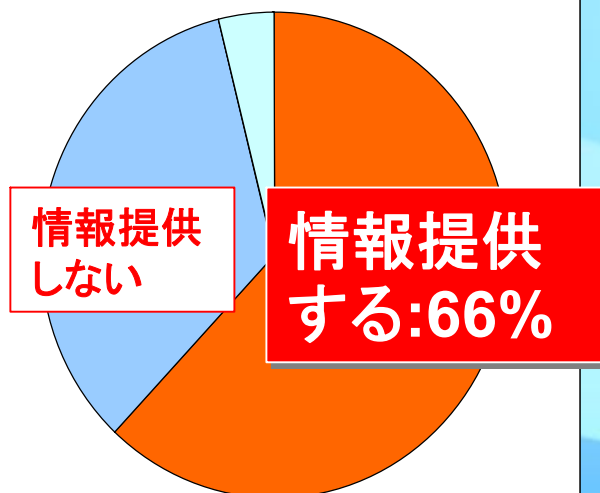
(藤沢市薬剤師会HPよりダウンロード可能)

・項目を順番に確認することで、確認すべき事項を網羅できる

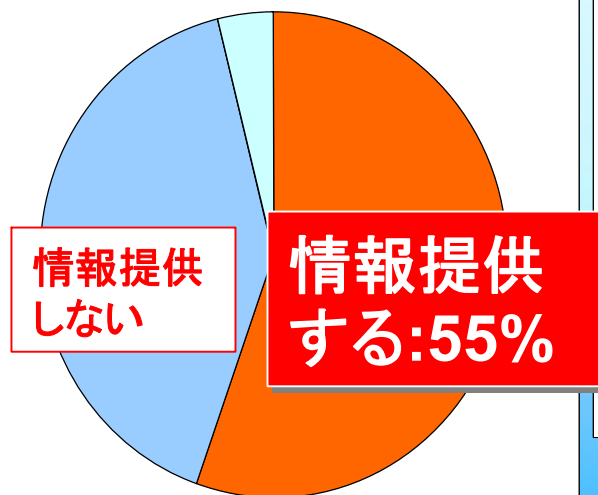
◎ 販売時の情報提供については、**第一類医薬品以外も実施**している薬局が**多数**あった。

Q) 販売時の情報提供実施状況(第1類医薬品以外)

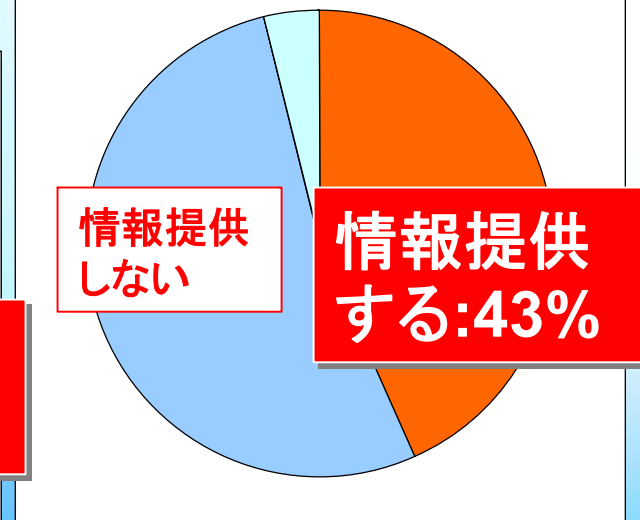
指定第2類医薬品



第2類医薬品

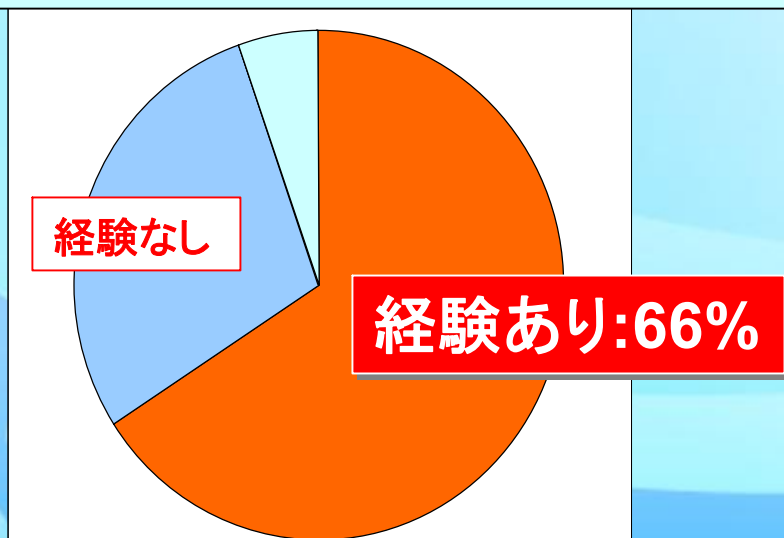


第3類医薬品

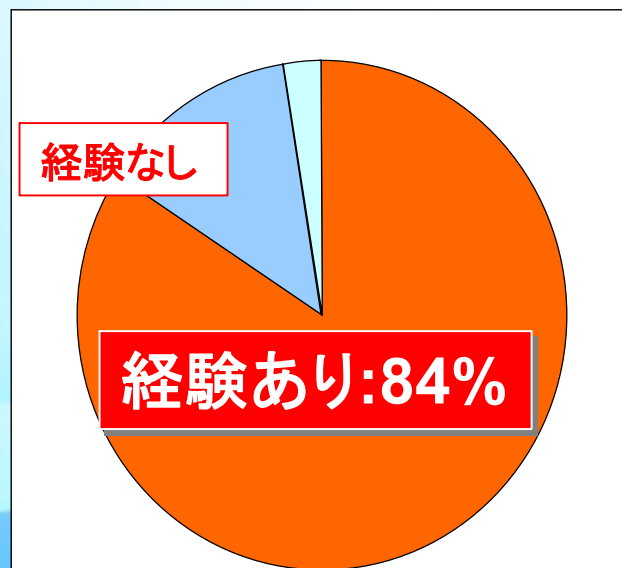


◎ **薬剤師の介入**により **OTC薬の選択が変更**された症例や **受診勧奨**した症例を多くの薬剤師が経験している。

Q) 薬剤師の介入により医薬品の選択が変更した症例



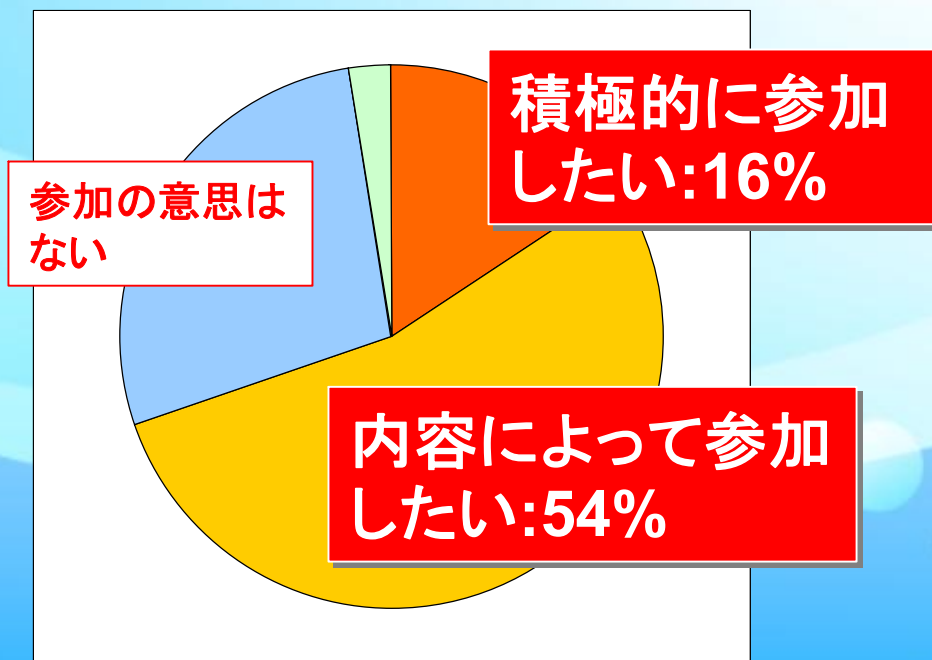
Q) 受診勧奨をおこなった症例



いずれも過去1年間における症例について

◎ 薬局薬剤師は **使用実態調査(AUT)などスイッチOTC薬の推進** に協力する意志がある。

Q) スイッチOTC化を推進するための使用実態調査(AUT)に参加する意志あるか？



# アンケート調査を終えて

## ◎ 市民・薬局の現状把握

⇒ 「おくすり相談薬局」では、OTC薬販売時に、薬剤師が職能を発揮している。

市民は、薬剤師に期待しているが、法制度・薬局機能への理解不足もあり、“期待”が“薬局選択の行動”に結びついていない。

## ◎ 「おくすり相談薬局」の機能訴求

⇒ 「おくすり相談薬局」機能を“直接”市民に説明出来た良い機会であり、一定の成果が得られた。

## ◎ 今後の指標

⇒ 我々薬剤師は、セルフメディケーションにおいて、より職能を発揮し、実績を積み重ね「市民から選ばれる存在になる」必要がある。



# 今後の課題

◎「違い」を見せよう!!

⇒「誰に相談すべきか?」「どこに相談すべきか?」  
薬剤師が登録販売者との『違い』を明確に示す。  
薬局が店舗販売業との『違い』を明確に示す。

◎「知って」もらおう!!

⇒法制度や薬局機能についての知識を持ってもらい、  
『薬局機能』を重要視した「評価基準(行動基準)」を  
持って頂けるよう啓発する。

◎「市場を活性化」させよう!!

⇒『新規スイッチOTC薬発売』に向け副作用調査や使用実態調査(AUT)へ積極的に関与する。

# ご清聴有難うございました

## ～薬局機能の確立を目指して～ 頑張りましょう!!



**おくすり相談薬局**  
藤沢市薬剤師会

**一般用医薬品** ご相談ください

安全・安心なお薬の相談・購入とセルフメディケーションのお手伝いは、この「お薬相談薬局」の表示のあるお店で。  
薬剤師はすべての医薬品の専門家です。  
お問い合わせ ☎0466228664

### 本日の発表内容について

「おくすり相談薬局」・「安心チェックシート」・「エッセンシャルOTC薬」  
などについての詳細は、当会ホームページをご覧ください。

社団法人 藤沢市薬剤師会 : <http://www.fujiyaku.org/>